

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立泉ヶ丘東中学校
校長 泉元 利夫

中学校区におけるめざす子ども像

- ・自分で考え、実行（表現）できる子
- ・思いやりを持ち、仲間と協働できる子
- ・心と体をしなやかに、たくましく生きる子

令和7年度 重点目標

学校教育目標「素直な心で 互いを大切にし 学びあおう」の実現に向け、「時を守り」「場を清め」「礼を正す」の「東中の心得」を教職員と生徒の実践を通して、対話日本一の学校をめざす。「めざす子ども像」と「つけさせたい力」について、より力を伸ばし、深めるために、具体的に進めていくことを検討し、実践していく。教科でどのような力をつけさせるのか、主体的・対話的で深い学びとなるように授業改善を進める。あわせて、学びのコンパスをふまえた授業改善を推進していく。

「確かな学び」の現状

本校は、責任感があり、貢献したい気持ちや挑戦する気持ちの強い生徒が多い反面、教科学力に課題のある生徒が多い傾向がみられる。そこで、自分の意見や考えを話したり、文章等で表したりする「言語活動」を取り入れることで授業の改善に取り組んできた。しかしながら、定期テスト等での得点が3割未満の低位層が多い状況にある。この層には、学力上の課題だけでなく、生活上の課題も抱える生徒も多くいる。学習と生活の両面において、家庭との連携および支援が必要である。

また、問題行動減少等の成果を出すため、生徒自身が主役・主体となれる場面を、学校行事や総合的な学習の時間、部活動などにおいて作り出すことで、学習・生活の重要な基礎となる「互いに支え合い学び合う集団づくり」を実践している。

「豊かな心・健やかな体」の現状

本校の生徒は、運動に積極的に部活動の参加率も高い。「体育授業」と「部活動」、「行事」の視点から「東中3アップ運動」をすすめている。

- ①体育授業で体力アップ…毎時間種目ごとの特性を意識した補強運動を取入れている。また、体力テストの結果を用いて、授業時に目標設定を行い、種目を実施している。
- ②部活動で体力アップ…参加率80%以上の活発な部活動で、技術だけでなく体力向上をめざしている。
- ③行事で体力アップ…体育大会やクラスマッチ等の体力向上をめざした行事を行っている。地域の運動会に積極的に参加することで、地域や家庭と連携し体力向上をめざしている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	ICTを活用した授業改善を推進し、子どもたちの情報活用能力を育成する。	全教科でICTを活用した授業を推進する	すべての教科において端末の活用	実践報告	通年	△ 学年や教科によりばらつきがあり、すべてにおいて活用できていない。	△	○ ・子どもたちの方がよく理解していると思う。 ・授業すべてにICTを活用することは難しいかもしれないが、取り組みつつ、紙に書く教材は残してほしい。
			●年1回公開授業を行い、授業力の向上に取り組む。	教員の公開授業の実施	実践報告	3学期	△ 公開授業がすべて終了しておらず、実施が予定より遅れている。	△	
	学習習慣の確立	「7つの約束」を強く意識させ、家庭の協力も得ながら「きっちり生活・しっかり勉強」を実現する。	●1日の学校生活を振り返り、自主学习ノートを活用し、家庭学習を充実して行えるような連絡帳を整備させる。	肯定回答8割以上	学校評価アンケート	3学期	△ 全学年で活用できていない。	△	△ ・端末を持ち帰ることがなく、家庭の様子をみていると、学ぶ姿勢は見受けられないので、学習習慣が確立しているとは思えない。
			朝食を摂り、規則正しい生活を送っている。	肯定回答8割以上	学校評価アンケート	3学期	○ 予定通り取り組んでいる。	◎	
豊かな心・健やかな体	優しい集団づくり	「場を清める」ことで気持ちよく学校生活を送るために、様々な行事を通じて、「最後まであきらめず頑張る心」を育てていく。同時に、清掃活動に力を入れる。	修学旅行や文化フェスティバルなどの学校行事を生徒中心に運営し、成功体験を積ませる。	肯定回答8割以上	学校評価アンケート	3学期	○ 予定通り取り組んでいる。	◎	○ ・子どもたちの行事の様子をみていると、本心に頑張っていると思う。また、部活動もよく頑張っていて、地区大会で優勝するなど、結果を残すことができている。
			●日頃使用している教室等を、感謝の気持ちをもって清掃させる。	肯定回答8割以上	学校評価アンケート	3学期	○ 概ね予定通り取り組んでいる。	○	
			国語の授業等で、学校図書館を利用するなど、学校図書館の充実により読書好きの生徒を増やす。	肯定回答8割以上	実践報告	3学期	△ 屋休みなど多くの生徒が図書館を利用している。	△	
	人間関係力の向上	「礼を正す」ために、まず「さわやかなあいさつで「よりよい人間関係」を構築する。相手を尊敬し、感謝の気持ちを言葉や態度で表すことを実践させる。	●生徒会・PTAとも連携しながら、朝のあいさつ運動を展開し、気持ちのよい一日を始めさせる	肯定回答8割以上	学校評価アンケート	3学期	○ 予定通り取り組んでいる。	○	○ ・挨拶をしてくれる子が多い反面、小学生のときは挨拶をしてくれたり、気を遣ってくれる声掛けがあるが、中学生になると恥ずかしさなのか、挨拶をしなくなる子もいる。
授業はもちろん、委員会活動や部活動などにおいても丁寧な言葉遣いを徹底させる。			肯定回答8割以上	学校評価アンケート	3学期	○ 概ね予定通り取り組んでいる。	○		
相互連携	地域への情報発信と小中一貫した教育の充実。	★グランドデザインの共通理解を小中学校間で深め小中連携を推進する。	小学校と連携した指導方法の工夫改善を進める。	実践報告	通年	○ 予定通り取り組んでいる。	○	○ ・小学校の授業参観でも交流があることがわかり、それを中学校でも生徒の学びにつなげて教えてあげてほしい。 ・ホームページで学校の取り組みがわかり、多くの人が閲覧していることなので、これからも続けてほしい。	
		学校ホームページに学校の取組や生徒の活動を広く発信する。	ホームページ閲覧数1日平均350以上	閲覧数	通年	△ 概ね予定通り取り組んでいる。	○		

校長より (年度末)

・今年度も制限なく、さまざまな教育活動に取り組むことができた。とくに体育大会では、学年の垣根を越えた縦割りでの生徒も前向きに参画し、学びが深まったと感じている。また、合唱コンクールではSAYAKAホールで開催したことで良い経験ができ、学校全体としてよい学習環境を維持することができた。

・学習面では、生徒の学ぶ力や基礎基本の定着を図るための家庭学習の充実が長年の課題であり、家庭と連携して取り組む必要がある。来年度も、生徒1人1台の端末を活用し、宿題の出し方などを工夫していき、基礎基本の定着を図っていく。また、学校に来ていない生徒の学習環境を整えていくことも課題として取り組んでいく。

学校関係者評価者から (年度末)

東中生は地域から見ればとても落ち着いたように見える反面、登校時の服装等を見ていると、とても気になる子どもたちもいる。また、学校に通えない子どもたちの対策をどうしていくかが学校の課題だと思う。